



脊掛小学校だより

未来を拓く

～元気・やさしさ・かがやく瞳～

1月号

NO. 625

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

新年を迎えて（杉並新教育ビジョン2022）

校長 鈴木 祐一

あけましておめでとうございます。新たな一年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、清々しい新年をお迎えのことと慶び申し上げます。

新年のこのときには清新な気持ちになります。初詣に行くときには、これから始まる一年を展望しながら、手を合わせて夢を描くことがあります。新年のこの機会に子供たちにも夢をもたせるきっかけにしたいと考えます。夢は目標であり、それを実現させるためには努力が必要になります。夢が大きければ大きいほど、その実現のためには必要なエネルギーも大きくなります。自分の夢を実現させるエネルギーは、自己の成長に好ましい影響を及ぼします。目標が大きければ、その夢の実現に向けてのエネルギーが生み出されます。夢や目標を立てた場合、それが実現できたか、あるいは実現ができなくても、どこまで達成できたかを振り返ることが大切です。努力をした自分を自覚させることは、自分自身を価値のある存在と認め、自尊感情や自己肯定感を育てることにつながります。子供にとって成功体験は大切ですが、未達成や失敗体験もあります。そのようなときに、自分の努力を認めることができれば、自分自身を価値のある存在として認識することにつながると考えます。このような体験を積み重ねることは、豊かな人間形成のステップになるはずです。

杉並区は、平成24年（2012年）に「杉並区教育ビジョン2012」を策定し「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」の実現を実践してきました。令和3年度に「教育ビジョン2012」が終期を迎えるにあたり、「教育ビジョン2012」を基に、令和4年度から概ね10年程度の期間とする「教育ビジョン2022」を策定しました。策定には、「杉並区教育振興基本計画」を設置し、多様な立場で教育に関わる区民、学識経験者に参画を得て、審議・検討を続けました。また教育シンポジウムやアンケートを行い、多くの区民や子供たちから意見を伺いまとめました。これらをもとに、区民の誰もがこれからの時代を自分らしく生きるために必要となる「私たちが大切にしたい教育」を「みんなのしあわせを創る杉並の教育」としました。「みんな」とは、児童を含め保護者、地域の方々を含め、杉並区すべての人ということになります。また、「しあわせ」とは誰もが自分らしく生きることであると考えます。みんながその人となり自分らしく生きていく、コロナ禍で制限され先が見えない中、希望をもち生きるには、すべての人が幸せを創る当事者となり、互いに認め合い社会を創り、担うことが必要であり、それを支えるのが教育としています。これには、誰もが等しく学びの機会を得られる「すべての人に教育を」を礎に、新たな価値を創り出していく「みんなと共に教育を創る」という考えです。

誰もが教育の当事者との考え方で大切にしたいことを3つあげています。

○学び合い、信頼をつくり、共に生きる ○ちがいを認め合い、自分らしく生きる ○誰もが社会の創り手として生きる

学び合い・教え合いの中では、多様な考えが生まれ新たな学びにつながります。学びを伝え合うには、国籍、年齢、性別・ジェンダーや障害の有無等にかかわらず対等な関係の中で対話することが大切です。その対話を通した学びの楽しさがさらに主体的な学びにつながっていきます。次に、自分らしく生きるには、自分の個性を大切にしなければなりません。多様化する社会の中では、他者理解が必要です。自分とちがいを認め合う関係をつくり、自尊心を高め、尊重し合うことを通して、生きる喜びを確かなものにします。最後に、子供を含めたすべての誰もが、よりよい社会とは何か考え、しあわせを願いこれからの社会を共に創り、担っていくことが求められています。誰もが教育の当事者であり、学びを通して自分らしく生きる力を育み、社会の創り手になり、誰もがしあわせに生きることができる社会にしていけることが求められています。

現在、「杉並区教育ビジョン2022」、保護者・教職員・地域の皆様からいただいた教育活動に関するアンケートを集計し、結果の分析を行い、来年度の教育課程（教育計画）の編成をしています。今年度も残り3ヶ月となりました。脊掛小の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

1月の生活目標「きまりを守りましょう」

生活指導部

令和4年がスタートしました。学期始めの目標は「きまりを守りましょう」です。子供たちと一緒に確認した「脊掛小学校のきまり」をもう一度見直し、きまりを守って生活をできているか点検をしていきます。中でも「あいさつをしっかりする」ことを重点的に指導してきました。正門とピンク門に校長と週番の教員が立ち、登下校の様子を見守り、挨拶をしています。あいさつウィークには当番の学年が早く登校し、挨拶の声を響かせています。自分から大きな声で進んで挨拶できる子をさらに増やしたいと思います。

また、登下校の際、ポケットに手を入れていたり、フードを被って歩いていたりする子には、危険なので声をかけています。今年も子供たちが安全に楽しく過ごせるよう、ご協力をよろしくお願いします。

< 1 月の予定 >

月	火	水	木	金	土
					1 元日
3	4	5	6	7	8
	学校閉庁日 (始)	学校閉庁日 (終)		冬季休業日 (終)	
10 成人の日	11 始業式 水曜時程 4 時間 下校 12:05	12 給食 (始) 委員会	13 安全指導 計測 (1、2、3)	14	15 土曜授業 AKA 交流授業 水曜時程 4 時間 下校 12:05
17 5 時間授業 SC 勤務日	18 計測 (4、5、6) 社会科見学 (3)	19 校内研究授業 書き初め展	20 トライやる 5 時間授業	21	22
元気アップ週間 あいさつウィーク (2)					
24 クラブ SC 勤務日	25	26 水曜時程 4 時間 下校 12:55	27 たてわり活動 新 1 年保護者会 理科出前授業 (3)	28	29
31 読書週間 (始)	2/1	2 委員会	3	4 読書週間 (終)	5

※予告なしで避難訓練を行います。

スクールカウンセラー 直通：3390-4191

土曜授業は、AKA 交流授業のため、公開はありません。6 年生は、天沼中学校に行き、百人一首大会を行います。1～5 年生は、天沼中学校の生徒と一緒に交流授業を行います。感染症対策のため、ご協力をお願いいたします。書き初め展は、今年度、保護者の参観はできません。ご了承ください。

研究授業 4 年生

社会科 「ごみの処理と再利用」

11 月 17 日 (水) に 4 年 2 組で校内研究授業を行いました。

東京ごみ戦争と呼ばれていた頃の、ごみがあふれた街の写真を見て、「ごみが収集されないと、どんな困ったことが起こるか」を考え、付箋に書いてグループで交流しました。

子供たちは、「ごみが溜まってしまうと車も人も通りにくい。事故にもつながるかもしれない。」「虫が大量発生したら困るよね。給食にハエがついたら食べられないし、学校にも行きたくなくなっちゃう。」など様々な視点から起こりうる問題について考えました。ごみが適切に収集・処理されることの大切さを実感したことで、その後の学習への意欲が高まりました。

